

資料②

○校数制限の変遷

1. 平成 9 年度 第 28 回全国ミニバスケットボール大会より 5 校以上の校数で編成するチームは、全国大会に出場が出来なくなる。
2. 平成 9 年 3 月 28 日に「チームに所属した子供たちが可能な限り多くのゲームに参加させる事。」「子供たちにミニバスケットボールの楽しさを十分に味わわせる事。」「各地に広くミニバスケットボールのチームが存在するよう図る事。」以上三点が日本ミニバスケットボール連盟の狙いとして、全国理事会で承認される。
3. 平成 24 年 3 月 28 日に「全国ミニバスケットボール大会出場における 1 チームを構成する児童在籍小学校の学校数の制限について※1」が日本ミニバスケットボール連盟より発信される。
4. 平成 24 年 4 月 1 日に「ミニバスケットボールの加盟規定についての方針(確認)※2」が日本ミニバスケットボール連盟より発信される。
5. 平成 29 年 3 月 17 日に「第 49 回全国ミニバスケットボール大会からの変更について※3」が公益財団法人日本バスケットボール協会より発信される。

○ FIBA の提唱する年齢について

◇原文:[FIBA National Federations Manual]第 2 節 Building Page5 ※4

“ One should be aware that there is a great risk in advancing a child too quickly, like playing 10 year olds with the 13 year olds.

Opinions amongst experts favor no more than two years difference. ”

◇訳文

10歳の子供と13歳の子供とを一緒にプレイさせるような早期教育は、大きな危険を伴う事と言う事に気づくべきである。

専門家たちの意見によると、一緒にプレイするには2歳以上離れてはいけないと言われている。

☆参考文書

※1 「全国ミニバスケットボール大会出場における1チームを構成する児童在籍小学校の学校数の制限について」
：日本ミニバスケットボール連盟

http://www.niigatacityminibb.com/H29_team_fromJM.pdf

※2 「ミニバスケットボールの加盟規定についての方針(確認)」:日本ミニバスケットボール連盟

http://www.niigatacityminibb.com/20120401_H24_JM.pdf

※3「第 49 回全国ミニバスケットボール大会からの変更について」:公益財団法人日本バスケットボール協会

http://www.niigatacityminibb.com/H29_team_fromJBA.pdf

※4 [National Federations Manual] : FIBA

<http://www.fiba.com/national-federations/manuals>

(上記ページ内下部の[in English]をクリックしてください。総ページ 333P

PDF 形式 9.4MB ありますのでダウンロードにはお気を付けください)